



未来を夢見て

2020/6/17 No. 17

給食が始まりました！

～感染症対策に配慮して作っていただいた皆様に感謝の気持ちを込めて～

今週から本格的な学校生活がスタートしました。

学校再開の最大の難関が給食指導と考えていたので、これまで高階先生を中心に指導内容を工夫し、堀田先生を中心に時程を試行錯誤していただきましたが、実際どのように子供たちが動くか、やってみないと不安な部分が残りました。

初日のメニューは写真一番上のドライカレーとナン、そしてワタンスープ。特にワタンスープは大和町の地場産品の豚肉やねぎもふんだんに取り入れられ、大変おいしくいただきました。その後教室を参観させていただきました。上から2番目の写真は1年生の佐々木先生の学級の子供たちが、後片付けに入るところですが、全員落ち着いて座っていて、先生の指示をきちんと聞いている様子が伝わってきます。何人かの子供に味を聞いてみるとみんな「おいしい」と言って完食していました。

後片付けと言えさすがに6年生は手際がよく、写真は6年生の小野先生の学級。コンテナの上にきちんと種類ごとに食器やスプーンが並んであって、こういったところにも先生方の指導が細部にまで行き届いていることを実感しました。その6年生ですが、靴箱も整然としていて、写真下から2番目は阿部先生、濱田先生、そしてもみじ学級のみなさんの靴箱です。こういったことが徹底できるところに小野小学校の子供たちの力を感じます。

分散登校から2週間が経過し、どの教室でも教科の授業が本格的に進んできました。一番下の写真は職員室前の「ノート名人」の掲示コーナーにある3年生の遠藤先生の学級のお子さんのノートです。文字も丁寧ですが、読みのめあてもきちんと立ててノートに書いているところに感心しました。

小野小学校ではノート指導に大変力を入れていて、職員室前の廊下にたくさんの子供たちのノートが参考資料として掲示してあります。今は正直感染症対策に多くの時間と労力が割かれていますが、ノート指導も日々の積み重ね。焦らずにじっくりと子供たちに力を付けていきましょう。

さて、昨日大変嬉しいことがありました。

それは、朝の子供たちの挨拶がとても気持ちよく感じられたからです。なぜでしょう。

ここから先は推測ですが、先日、開校記念日の放送で小野小学校の伝統として「挨拶」をきちんとすることについて、お話させていただきました。きっと教室でも、先生方が子供たちに指導をしていただいたのではないのでしょうか。子供たちは少し意識しただけでもこれだけ変わります。万事徹底。気持ちのよい挨拶と整然とした靴箱は小野小の子供の財産。どうか教室で、校長先生が挨拶と靴箱をととても褒めていた、と先生方から伝えてください。(もちろん先生方も遠慮せず褒めるときは大げさに褒めてください)

(文責：手代木)

